

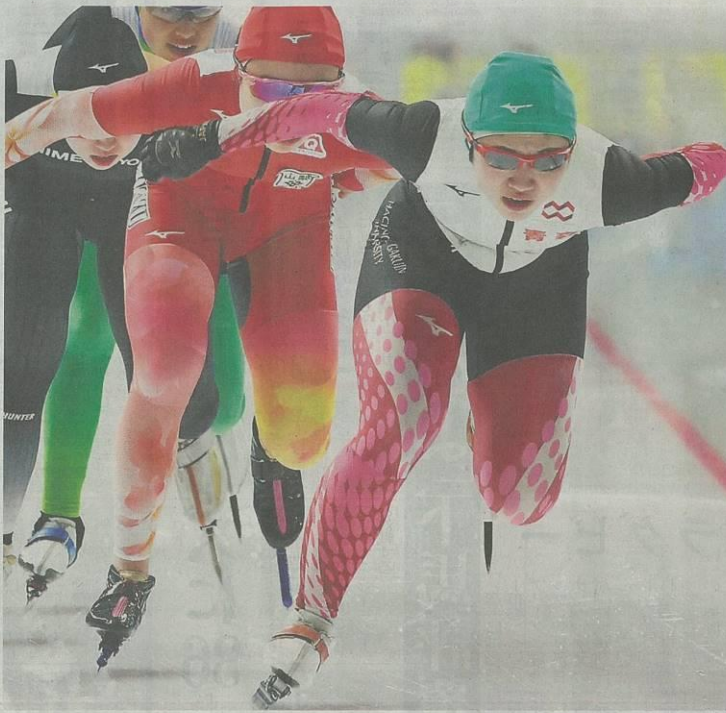
成年女子
1500「銅」

澤尻 猛ダッシュ的中

第75回

氷都新時代!

八戸国体



「スピードスケート成年女子1500m決勝」3位で今大会優勝初の表彰台となった澤尻磨里英(八戸学院大)。「YSアリーナ八戸」

残り1周勝負で表彰台 今大会勢初

「スタートから行く」。長距離の実力者が、序盤からダッシュをきかせ、一番最初の「責任先頭」のポジションを奪い取った。澤尻磨里英(八戸学院大)が成年女子1500mで3位に入り、今大会優勝初の表彰台に上がった。1500mでの表彰台は初めて。よかったと、作戦成功に満面の笑みを浮かべた。

くじ引きが弱く、不利な位置からスタートすることが少なくないという。今回も運が味方せず、一番外に「出たどこ勝負」と気持ちを切り替えた。船場監督からは「気持ちで負けるな」と活を入られた。レースでは作戦通り早々とポイントを獲得。中盤は流して体力を温存し、最後1周のスタートに懸けた。結果は、前半走る選手を追い抜くことはできなかったが、後続にも抜かれることなくフィニッシュ。責任先頭制のあやで、ゴール直後は何位だったか分からなかったが、「3位だった」と喜び、船場監督を見て、結果を知った。

「どこを走っても応援してくれる声が届いて、励みになった」と地元の会場の声援に感謝した澤尻。2日には3000m決勝を控える。「もちろん3000mでも表彰台を狙っていく」と気を引き締めた。

(工藤慎子)

ヒロイン



表彰式後、賞状を手にする（左から）毛利、橋本、山本、澤尻、前中、下村の各選手



初受賞「うれしい」
○：成年女子1500

【スピードスケート成年女子1500m決勝】責任先頭を取れず8位の前中香澄（八戸学院大）

た。「決勝に残れたことがうれしい」と晴れ晴れとした表情だった。序盤から積極的に責任先頭のポイントを取りに行く作戦。スタートは2番目の好位置につけたが前に出られず、獲得できなかった。課題は見えてきた。スピードが足りない。スタートで加速できない。瞬発力をつけ、経験を積んでレース展開も勉強したい。」



【スピードスケート成年女子2000mフリー予選2組】A決勝進出を決めた泉勢。3走大岩未奈美（八戸学院大）（左から）ハートを愛付力するアンカー鬼頭馨吾（同）

粘りの滑りで決勝へ
○：成年女子2000
フリー予選2組は5チームで争われ、2位に入った本県は2日の決勝進出と入賞を決めた。1走前中（八戸学院大）がスタート前に「青森」と声を弾ませた。

くぞー！」と叫ぶと会場から大歓声が上がった。レースは3番手から前を追う苦しい展開。2走加賀（大東大）と3走大岩（八戸学院大）も力走したが挽回できず、エースの4走鬼頭（同）に3位でハトンが渡った。「必ず決勝へいく」。鬼頭はコーナーでスピードに乗ると直線でもぐぐぐん加速、あっといふ間に前を行く選手を捉えた。最後は山梨県に救き返されたものの、粘りの滑りで2位を死守。「チームの目標だった決勝進出を達成できて良かった」と声を弾ませた。

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです

